



写真提供 公益財団法人 沖縄協会

なはおんな 金城芳子

— 金城芳子 没後35年 —
三木 健が語る

金城芳子は、女性が学び、社会で働くこと自体がまだ珍しかった明治期の沖縄で、自ら道を切り開いた先駆的な女性です。沖縄近代史・女性史において重要な存在でありながら、これまで十分に語られてこなかった側面も少なくありません。

本講座では、金城芳子の人物像をあらためて丁寧に見つめ直し、多角的な視点からその歴史的意義を掘り下げ、現代を生きる私たちの生き方や社会のあり方について考えます。

9月12日 土 午後2時～午後4時

会場 なは女性センター
対象 関心のある方
定員 40名(事前申込/先着順)
受講料 無料

※手話通訳・一時保育(受入人数に限りあり)をご希望の方は、9月1日(火)午後5時までにお申込みください。
ただし、那覇市在住・在勤・在学の方に限ります。

金城芳子 那覇市生まれ(1902-1991)

沖縄学の創始者・伊波普猷らの感化を受け、近代女性の自我に目覚めた沖縄女性の草分けの一人。

社会福祉事業に携わり、東京ひめゆり同窓会や「東京おきなわふるさとの家」を主宰するとともに、沖縄協会評議員、「沖縄青少年相談相手」として、本土で働く沖縄 青少年のよき相談相手役を努めるなど精力的に活動されました。

金城芳子基金

～沖縄女性の地位向上のために役立てたい～

金城芳子さんの生前の強い意思により、ご遺族によって1992年に創設されました。沖縄女性のため、社会的に意義のある活動や調査研究を行う個人、団体及びグループに資金を助成しています。

運営団体:公益財団法人 沖縄協会

ジャーナリスト
沖縄現代史研究者

三木 健



1940年石垣島生まれ。八重山高校、明治大学政経学部卒業。琉球新報社に入社。編集局長、副社長など歴任。竹富町史編集委員、沖縄ニューカレドニア友好協会顧問(初代会長)、世界のウチナーンチュセンター設置支援委員会共同代表。編著に『民衆史を掘る—西表炭坑紀行』(本邦書籍、93年)、『沖縄・西表炭坑史』(日本経済評論社、96年)『ドキュメント 沖縄返還交渉』(日本経済評論社、2000年)『空白の移民史—ニューカレドニアと沖縄』(シネマ沖縄、17年)『沖縄と色川大吉』(不二出版、21年)『沖縄・八重山・五十年史—沖縄返還交渉から「オール沖縄」まで』(不二出版、24年)第53回伊波普猷賞受賞。

なは女性センター
または
お申込みフォーム
お電話ください

